

記入例

- ①法務局にて、相続された農地の名義変更をお願いします。
- ②変更後、農地法第3条の3の規定による届出書を農業委員会へご持参ください。

様式例第3号の1

農地法第3条の3の規定による届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先)

小矢部市農業委員会会長

農地を相続された方

住所 小矢部市本町〇〇

氏名 小矢部 次郎

下記農地 ~~(採草放牧地)~~ について、相続により所有権を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出ます。

記

1 権利を取得した者の氏名等

氏名	住所	国籍等	在留資格又は特別永住者
小矢部 次郎	小矢部市本町〇〇	日本	

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積(m ²)	備考
	登記簿	現況		
小矢部市□□ 〇〇番	田	田	1,000	
〇〇番	田	田	900	
△△ 〇〇番	田	田	800	
〇〇番	畑	畑	100	

3 権利を取得した日

(平成・令和) 〇〇年〇〇月〇〇日

被相続人 死亡の日

4 権利を取得した事由

小矢部 太郎 の死亡に伴う相続により取得

被相続人

5 取得した権利の種類及び内容

取得した権利の種類	今後の耕作予定 例) 今まで自作していたが、今後は〇〇に委託する予定
所有権	例) 自作する予定、〇〇営農組合へ委託する予定 など

(記載要領)

- 1 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
- 3 国籍等は、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の45に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあつては在留資格、特別永住者にあつてはその旨を併せて記載してください。法人にあつては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
- 4 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の住所及び氏名をそれぞれ記載してください。また、記の1の「権利を取得した者の氏名等」は必要に応じ、行を追加をしてください。
- 5 記の2の「届出に係る土地の所在等」の備考欄には、登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
- 6 記の4の「権利を取得した事由」には、相続(遺産分割、包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む)、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
- 7 記の5の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定(見込み)の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。また、共有物として農地又は採草放牧地の権利を取得した場合であつて、届出者以外にも共有者がいるときは、その人数を記載してください。なお、人数がわからない場合は、その旨を記載してください。